

日本語教室が開催されていない市区町村（以下、空白地域）に居住する外国人は現在、約47万人いる。（令和元年11月現在）

（空白地域は1,109 地域住民に対する外国人比率の全国平均2.22%以上の市区町村141）

空白地域在住の外国人に日本語学習機会の提供を目的として、①アドバイザーを派遣するとともに、日本語教室の開設・安定化に向けて支援する。

また、②日本語教室の設置が困難な地域に住む外国人にはインターネット等を活用した日本語学習教材（ICT教材）を開発・提供する。さらに、③日本語教室がない市町村が多い都道府県において空白地域解消のノウハウを共有、解消方法を検討・協議するために研究協議会等を開催し、日本語教室設置を促す。

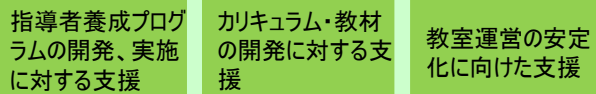
- 外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策(令和2年7月、外国人材の受入れ・共生のための関係閣僚会議で改訂)
- 日本語教育の推進に関する施策を総合的かつ効果的に推進するための基本的な方針(令和2年6月、閣議決定) ●成長戦略フォローアップ(令和2年7月、閣議決定)

1 地域日本語教育スタートアッププログラム

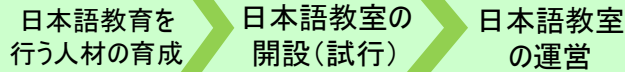
《令和2年度採択実績》・件数：17件・対象：市町村等

▼アドバイザー派遣の支援

- 地域日本語教育プログラムの開発
 - 施策立案への助言
 - 関係機関との調整
- 専門家チームによる3年サポート



地方公共団体による取組



▼日本語教室の開設・安定化に向けた支援【新規】

コーディネーター、日本語教室の日本語教師、日本語教室運営のための人材養成、教材作成等に係る経費を支援

3 セミナー・協議会の開催

▼空白地域解消推進セミナー(東京)

- 日本語教室の開設に向けて取り組んでいる全国の市町村等

空白地域解消の実践事例紹介

▼研究協議会【新規】

(空白地域が多い都道府県2か所)

- 域内の市区町村等

地域資源活用連携方法等協議

2 ICT教材の開発・提供

▼日本語学習サイト「つながるひろがる にほんごでの暮らし」



令和3年度は、開発した10言語に追加し、さらに4言語を開発する。

- ▼計14言語
- R1 日本語、英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語(6言語)
- R2 インドネシア語、フィリピン語、ネパール語、カンボジア語(4言語)
- R3 タイ語、ミャンマー語、韓国語、モンゴル語(4言語)

また、日本語学習教材の活用方法の説明会開催する。

期待される効果

- 地域に日本語教室が開設される、もしくは日本語学習することにより、日本語を習得する
- 近隣住民とのコミュニケーションが円滑になり外国人が孤立することが少なくなる
- 地域住民（日本人・外国人）の地域社会への参画が増える
- 地域住民が活躍、外国人の受入れが円滑になる
- 地域が活性化する



「生活者としての外国人」のための日本語学習サイト つながるひろがる にほんごでの暮らし



概要

日本語教室がない空白地域に暮らし、日本語学習機会がない外国人が独学で習得できる日本語学習コンテンツを開発・公開
(委託：凸版印刷株式会社)



内容

- ・生活場面の動画中心、字幕表示、文法確認、表現・語彙の確認、生活に必要な情報等
- ・活用方法等のセミナー開催



対応言語 全14言語を目標に追加予定

令和元年度：6言語開発

(日本語, 英語, 中国語, ポルトガル語, スペイン語, ベトナム語)

令和2年度：4言語追加

(インドネシア語, フィリピン語, ネパール語, カンボジア語)

令和3年度：4言語追加

(韓国語, ミャンマー語, モンゴル語, タイ語)



使い方ガイドブック等の作成

活用促進のため、広報ツールを作成・公開

- ・使い方ガイドブック
- ・パンフレット
- ・広報用動画



このサイトでは、日本で生活する外国人の皆さんが、日本語でコミュニケーションをとったり、生活できるようになったりすることを目指して、日本語を学習することができます。自分に合った日本語のレベルや、学習したいシーン、キーワードに応じて学習コンテンツを選択することができます。日本語を勉強し実際に使うことを通じて、社会とつながり、生活をひろげてみましょう

このサイトについて

見て学ぶ生活の場面

学習したいシチュエーションや、日本語の習得レベルに応じてコンテンツを選んで学習できます。



ポイント
1

多言語対応

10言語とローマ字に対応しています。

日本語、英語、中国語(簡体字)、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、インドネシア語、フィリピン語、ネパール語、クメール語



ポイント
2

生活の場面に特化

日本で暮らす外国人が経験する、生活の場面で使う日本語の学習に特化しています。



ポイント
3

動画中心

生活の場面を再現した動画や、文型説明動画など、視覚・聴覚から理解しやすい教材が多く揃っています。



ポイント
4

日本語の基礎知識も掲載

日本語の特徴や動詞活用など、日本語を学ぶ前に知っておくとよい情報も多数掲載しています。





レベル1

シーン1 あいさつをしよう

シーン2 身近なものを買ってみよう

シーン3 売り場や値段をきいてみよう

シーン4 ほしいものを選んで買ってみよう

シーン5 お店の人に希望を伝えてみよう

シーン6 レストランへ行ってみよう

シーン7 宅配便を利用しよう

シーン8 電車に乗ってみよう

シーン9 道をきいてみよう

シーン10 銀行を利用しよう

シーン11 住民としてのマナーを理解しよう



レベル2

シーン1 場面に応じたあいさつをしよう

シーン2 お店のサービスを利用してみよう

シーン3 お店を選んでみよう

シーン4 いろいろなお店を利用しよう

シーン5 上手に買い物をしよう

シーン6 自治会に入ってみよう

シーン7 イベントに行ってみよう

シーン8 病院に行こう

シーン9 緊急のときは、助けをもとめよう

シーン10 役所に行こう

シーン11 図書館に行ってみよう

シーン12 ハガキを送ってみよう

シーン13 インターネットや電話を利用しよう



レベル3

シーン1 薬局を利用しよう

シーン2 防災について考えよう

シーン3 引っ越し先を探そう

シーン4 引っ越しの準備をしよう